

Ⅲ 調査結果の概要

1. 黒字病院比率

一般病院の黒字病院比率を開設者別に示したものが**図表 3**である。医療法人立病院 71.6%、社会保険関係団体病院 56.8%、その他公的病院 46.4%、自治体立病院 25.1%と、公民で大きく隔たりがある。中でも自治体病院は、黒字病院が 4 分の 1 にとどまっている状況である。

なお、本調査における黒字病院とは、経常利益が黒字の病院と定義している。

図表 3 一般病院における黒字病院比率

区 分	一般病院における 黒 字 病 院 比 率
医療法人	71.6%
自治体	25.1%
社会保険関係団体	56.8%
その他公的	46.4%

医療法人について、病院種別に黒字病院比率を示したものが**図表 4**である。精神科病院、療養型病院、ケアミックス病院、一般病院の順で比率が高くなっている。

図表 4 医療法人における黒字病院比率

区 分	一般病院	ケアミックス 病 院	療養型病院	精神科病院
医療法人	71.6%	74.4%	81.3%	89.7%

2. 公民比較

一般病院における主な指標について、公民比較を行ったものが、**図表5**である。
 医業利益率については、医療法人立病院が2.0%とプラスであるのに対し、公的病院は、自治体病院が-14.6%、社会保険団体病院が-1.3%、その他公的病院が-2.1%と何れの開設者区分においてもマイナスであり、中でも自治体病院のマイナス幅が大きい。

人件費比率は、医療法人立病院およびその他公的病院がともに52.7%、社会保険団体病院が53.0%に対し、自治体病院は63.6%と、他の3区分を大きく上回っている。人件費に委託費を加えた比率においても、自治体病院において、さらに開きが大きくなっている。

物件費については、その他公的病院において、若干高いものの、他は自治体病院も含め、ほとんど差がない。資本費比率および1床あたり固定資産額については、自治体病院の高さが顕著である。

職員1人当り人件費については公民で開きが大きく、中でも自治体病院が目立って高い。職員1人当り医業収益においては、その他公的病院および社会保険関係団体病院で高くなっている。医師1人当り患者数については、入院、外来ともに医療法人において最も高くなっている。

図表5 一般病院における公民比較

区 分		一般病院			
		医療法人	自 治 体	社会保険 関係団体	そ の 他 公 的
		施 設 数	232	251	37
	平均病床数	135.0	295.0	317.0	386.0
医業利益率	(%)	2.0	-14.6	-1.3	-2.1
人件費比率	(%)	52.7	63.6	53.0	52.7
人件費比率（委託費含む）	(%)	58.6	73.2	60.3	59.0
物件費比率 ^{注1)}	(%)	34.2	34.8	34.2	36.3
資本費比率 ^{注2)}	(%)	4.6	10.5	5.3	6.8
1床当り固定資産額	(千円)	12,132	24,018	11,747	18,315
職員1人当り人件費	(千円)	6,277	7,761	7,281	7,208
病床利用率	(%)	77.8	72.6	73.4	77.8
外来／入院比	(倍)	2.6	2.1	2.0	1.9
職員1人当り医業収益	(千円)	12,144	12,721	13,905	14,052
患者1人1日当り入院収益	(千円)	37.0	35.5	41.0	40.6
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	11.7	10.6	12.2	12.1
医師1人当り入院患者数	(人)	6.8	6.0	4.8	5.5
医師1人当り外来患者数	(人)	13.3	12.3	9.6	10.3

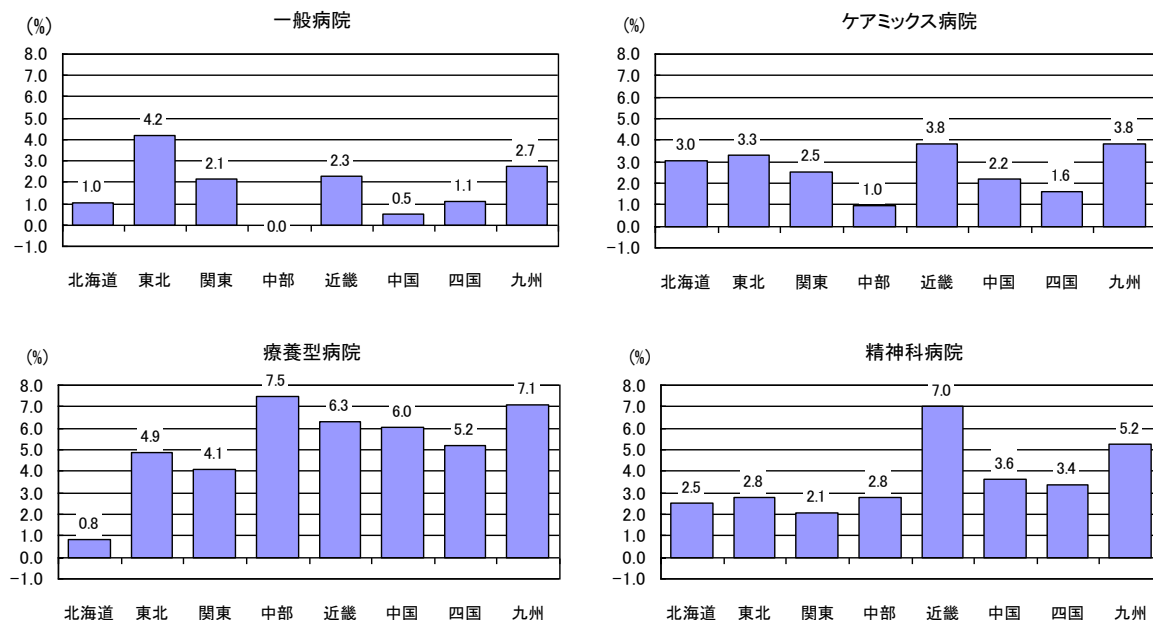
注1) 物件費比率：(材料費＋経費＋設備関係費－減価償却費) ÷ 医業収益

注2) 資本費比率：(減価償却費＋金利) ÷ 医業収益

3. 地域別比較（医療法人）

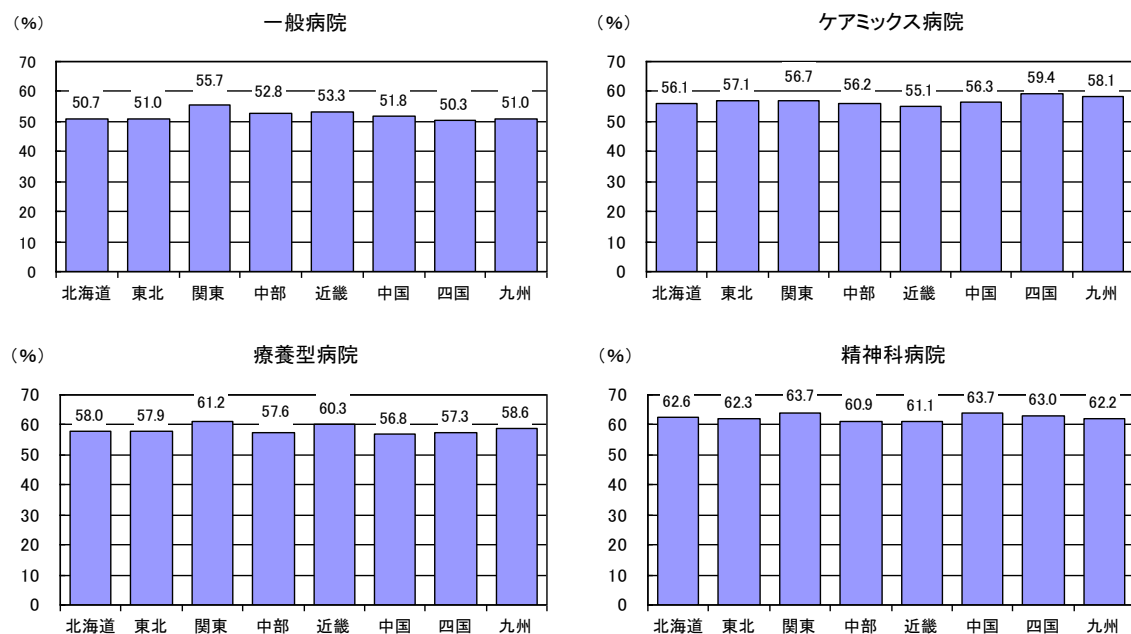
医療法人立病院について、病院種別毎に地域別の医業利益率を比較したものが図表6である。

図表6 医療法人における病院種別医業利益率（地域別比較）



また、医療法人立病院について、病院種別毎に地域別の人件費比率を比較したものが図表7である。

図表7 医療法人における病院種別医業利益率（地域別比較）



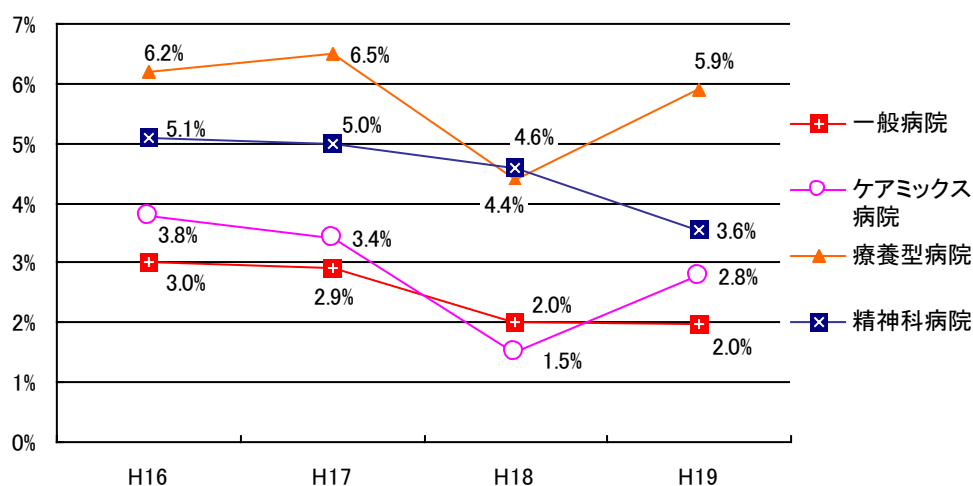
4. 収益力の推移（医療法人）

平成 16 年度以降の医療法人の病院種別の収益動向について、医業利益率および赤字病院比率の推移を示したものが図表 8、図表 9 である。

医業利益率については、一般病院および精神科病院において、依然として低下傾向が続いており、平成 19 年度は、特に精神科病院の落ち込みが目立っている。

一方、ケアミックス病院と療養型病院については、平成 18 年度に大きく落ち込んだが、平成 19 年度には、やや回復している。

図表 8 医療法人における病院種別医業利益率推移



赤字病院比率については、一般病院においては、平成 17 年度以降、増加し続けている。ケアミックス病院、療養型病院、精神科病院については 18 年度に増加したが、19 年度には減少に転じている。ケアミックス病院と、精神科病院においては、5 ポイント程度減少している。

図表 9 医療法人における病院種別赤字病院比率推移

